

平成21年度 リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰 推薦要領

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会では、毎年、3Rに取り組み顕著な実績を挙げている個人・グループ・学校・事業所等を表彰する「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」を実施しています。

このたび平成21年度の募集を開始しましたので、多数のご応募をお待ちしています。特に、従来から行われているリサイクル活動のみならず、リデュースやリユースに関する新しい取り組みを実施して、他の範となるような案件がございましたら推薦をお待ちしております。

応募締め切り 平成21年6月12日(金)(必着)

審査スケジュール

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 一次審査 | : 8月中旬を予定 |
| 2. 二次審査 | : 9月中旬を予定 |
| 3. 審査結果の内定通知 | : 9月下旬を予定 |
| 4. 表彰式 | : 10月下旬を予定 |

提出先及び問い合わせ先

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会事務局 担当：鎌田
〒107-0052 東京都港区赤坂1丁目9番20号 第16興和ビル6階
財団法人クリーン・ジャパン・センター内
電話：03-6229-1031 FAX：03-6229-1243
<http://www.cjc.or.jp/>

主催 リデュース・リユース・リサイクル推進協議会

<目 次>

表彰制度の概要、応募方法等	1
推薦一覧 様式	6
推薦書 様式	7
候補者の概要書 様式（様式1：個人・グループ・学校用）	8
候補者の概要書 様式（様式2：事業所・地方公共団体等用）	14
<参考> リデュース・リユース・リサイクル（3R）の取り組みの例について	20

表彰制度の概要、応募方法等

1. 目的

リデュース（発生抑制）・リユース（再使用）・リサイクル（再生利用）（以下「3R」といいます）に率先して取り組み、継続的な活動を通じて顕著な実績を挙げている者を表彰することによりこれらの活動を奨励し、もって循環型社会の形成推進を図ることを目的とします。

2. 主催

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会

3. 後援（予定）

内閣府、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省

4. 募集対象

循環型社会の形成に向け、3Rに率先して取り組み、継続的な活動を通じて顕著な実績を挙げている個人、グループ、学校、特に貢献の認められる事業所及び地方公共団体等の実務担当部署（以下「候補者」といいます）

5. 賞の種類（予定）

（1）内閣総理大臣賞

（2）関係府省大臣賞（各大臣賞の対象分野は以下のとおりです）

大臣賞の名称	対象分野
内閣府特命担当大臣賞	内閣府国民生活局の所掌業務に関連する3R活動
財務大臣賞	財務省の所掌業務に関連する3R活動
文部科学大臣賞	文部科学省の所掌業務に関連する3R活動
厚生労働大臣賞	厚生労働省の所掌業務に関連する3R活動（医薬品等関係に限る）
農林水産大臣賞	農林水産省の所掌業務に関連する3R活動
経済産業大臣賞	経済産業省の所掌業務に関連する3R活動
国土交通大臣賞	国土交通省の所掌業務に関連する3R活動
環境大臣賞	環境省の所掌業務に関連する3R活動

（3）リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞

6. 募集方法

本表彰では、下記～の推薦機関を通じた推薦方式により「4. 募集対象」に定める候補者を募集します。候補者が直接当協議会に自薦応募することはできません。

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会の会員団体
地方自治体（都道府県、政令指定都市、中核市、特別区）
建設副産物対策地方連絡協議会

7. 応募の方法

(1) 提出書類

推薦機関は、この推薦要領に定める様式により、推薦一覧、推薦書(候補者1件につき1通ずつ作成)、候補者の概要書(候補者に作成を依頼し、内容を確認して下さい)を提出して下さい。併せて、活動の様子がわかる写真、参考資料(パンフレット等)を添付して下さい。

提出書類の様式、提出部数等は下表をご参照下さい。

この推薦要領(Microsoft word形式)は(財)クリーン・ジャパン・センターホームページ(<http://www.cjc.or.jp>)の3R推進協議会コーナーからダウンロードできますのでご利用下さい。

提出書類		書類の作成者	記入様式	提出部数 提出方法
推薦一覧		推薦機関	6ページ	提出部数 ・ 正本1部 ・ 副本2部 ・ 電子媒体1部 (CD-R等)
推薦書(1件の候補につき1通ずつ作成し、候補者の概要書を添付して下さい)			7ページ	
候補者の概要書	個人・グループ・学校用 【様式1】	候補者	8～13 ページ	提出方法 ・ 郵送又は持参
	事業所・地方公共団体等用 【様式2】		14～19 ページ	

活動内容の写真(デジタルデータまたはプリント)を添付して下さい。また活動内容に関する参考資料(パンフレット等)があれば、印刷物または電子ファイルを2部提出して下さい。

(2) 提出期限

平成21年6月12日(金)(必着)

(3) 提出先

〒107-0052 東京都港区赤坂1丁目9番20号 第16興和ビル6階
財団法人クリーン・ジャパン・センター内
リデュース・リユース・リサイクル推進協議会事務局 担当：鎌田
電話：03-6229-1031 FAX：03-6229-1243

8. 推薦に当たっての注意事項

推薦書は必ず推薦機関の代表者(協議会会員団体の長、都道府県知事、政令指定都市市長、中核市市長、特別区区長、建設副産物対策地方連絡協議会会長)名で作成し、代表者印を押印のうえ提出して下さい。

(17年度まで行っていた推薦人の委嘱及び就任承諾の手続きは不要となりました。)

推薦する際には、必ず事前に候補者の承諾を得ておいて下さい。

推薦機関は、候補者に法令違反や係争・紛争、その他表彰対象者として相応しくない事項が無いかを確認のうえ推薦して下さい(推薦書のチェック項目をご活用下さい)。

なお、チェック項目が全てクリアされている候補者であっても、審査において受賞者として不適当と判断されることがあります。

過去に受賞した候補者を同じ取り組み内容で繰り返し推薦することはご遠慮下さい。過去受賞時とは別の取り組みであれば推薦可能です。なお、過去に受賞した企業の別の事業所、あるいは過去に受賞した建設会社や共同企業体が行う別の工事等は別の候補者と見なします。

また、過去受賞時の延長線上にある取り組みであっても、その後の拡大・発展が著しく上位賞の候補になると判断した場合は推薦いただいても結構です。その場合は、過去受賞時から拡大・発展したポイントについて、候補者の概要書の「3. 本表彰における過去の受賞歴」欄に記載して下さい。

推薦機関は審査結果等については責任を負わないものとします。

9. 審査

有識者等からなる「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰審査委員会」を設置し、別紙1に定める「審査基準」に基づき、応募案件の審査を行います。

10. 結果の通知

推薦機関に結果(入賞内定または選外)通知を送付した後、入賞の内定した候補者に内定通知を送付します(9月下旬を予定)。

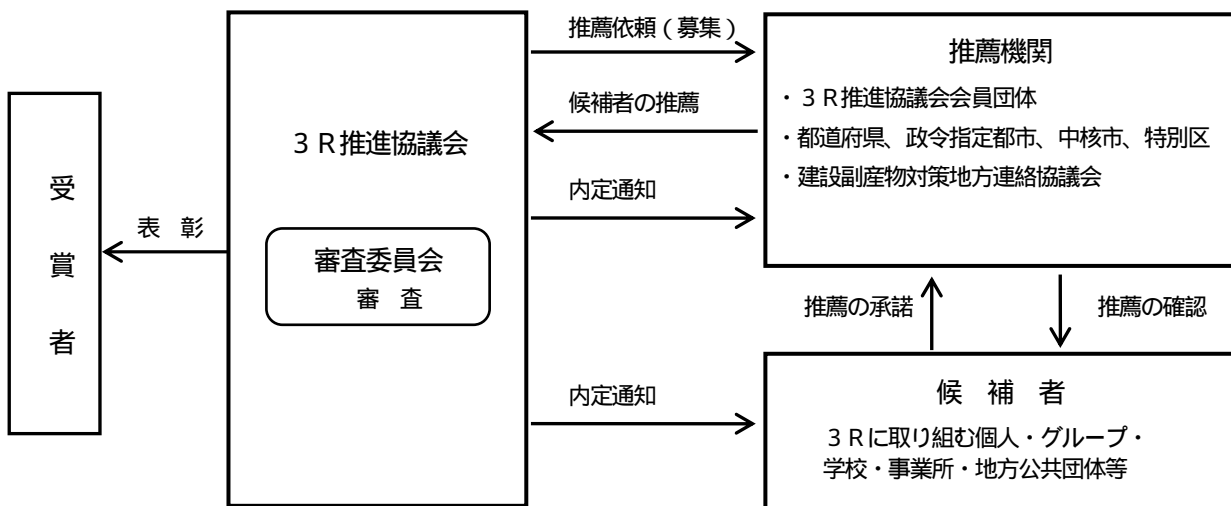
11. 表彰式

平成21年10月下旬 東京都内で挙行予定。

12. 個人情報の取り扱いについて

推薦書、候補の概要書等に記載された個人情報は、本表彰の実施に関連する用途以外には使用いたしません。

13. 募集から表彰までの流れ



[募集から表彰までの流れ]

平成21年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰
 審査委員会委員名簿(予定)

氏名	所属機関
木村文彦	法政大学理工学部 教授
角田禮子	主婦連合会 副会長
小澤紀美子	東京学芸大学教育学部 名誉教授
竹居照芳	(元)富士常葉大学流通経済学部 教授
大石美奈子	社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会 環境委員会 副委員長
坪田秀治	日本商工会議所 理事・事務局長
細田衛士	慶應義塾大学経済学部 教授
田中孝文	内閣府 国民生活局長
西村善嗣	国税庁 長官官房審議官
清水潔	文部科学省 生涯学習政策局長
榮畑潤	厚生労働省 大臣官房審議官
町田勝弘	農林水産省 総合食料局長
鈴木正徳	経済産業省 産業技術環境局長
大口清一	国土交通省 総合政策局長
谷津龍太郎	環境省 大臣官房 廃棄物・リサイクル対策部長

<別紙 1 >

審査基準

個人・グループ・学校

評価項目	具体的な評価事項
継続期間	主体の特性に応じて活動の継続性を評価する。
対象品目・量等の実績、活動の効果	活動対象品目の範囲・3R対象量等の活動実績、及び活動により得られた効果（廃棄物の削減効果、省資源・省エネ効果、環境保全効果、等）を評価する。
地域性	活動範囲（実施主体の特性や活動内容を勘案しつつ、活動範囲の広さを評価する。） 他主体・他地域との連携（他の3R活動主体や他地域との連携について評価する。） 地域密着性（地域の特性や廃棄物問題を踏まえた活動であるかを評価する。）
活動頻度	活動頻度を評価する。
独創性・先鞭性	当該主体で考案された独自の活動か、先進的に取り組んだ活動かを評価する。
波及効果、啓発・教育効果	他者の3R活動に与えた効果を評価する。また、機関誌の発行、講演会・研修会の開催等による啓発・教育活動を行っている場合は、その効果を評価する。
その他評価	リデュース・リユース・リサイクルの各分野にわたる活動、当該主体の特性、その他を評価する。

事業所・地方公共団体等

評価項目	具体的な評価事項
継続期間	主体の特性に応じて活動の継続性を評価する。
対象品目・量等の実績、活動の効果	活動対象品目の範囲・3R対象量等の活動実績、及び活動により得られた効果（廃棄物の削減効果、省資源・省エネ効果、環境保全効果、等）を評価する。
地域性	活動範囲（実施主体の特性や活動内容を勘案しつつ、活動範囲の広さを評価する。） 他主体・他地域との連携（他の3R活動主体や他地域との連携について評価する。） 地域密着性（地域の特性や廃棄物問題を踏まえた活動であるかを評価する。）
独創性・先鞭性	独創性・先鞭性（製品、サービス、技術、社会システム等の開発を含む）を評価する。
波及効果、啓発・教育効果	他者の3R活動に与えた効果を評価する。また、機関誌の発行、講演会・研修会の開催等による啓発・教育活動を行っている場合は、その効果を評価する。
その他評価	リデュース・リユース・リサイクルの各分野にわたる活動、当該主体の特性、その他を評価する。

(推薦機関で作成)

平成21年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰
推 薦 一 覧

平成21年 月 日

推薦機関名： _____

候補者名 (連名による候補の場合は、同じマスに名前を列記して下さい)	本表彰制度における 過去の受賞実績

平成21年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰 推 薦 書

平成21年 月 日

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会 御中

(推薦機関名)

(代表者役職・氏名)

印

リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰の候補として下記の者を推薦します。

記

1. 候補者名(連名による候補の場合は、名前を列記して下さい)

--

2. 推薦機関の連絡先等

推薦機関名		
住所	(〒)	
記入担当者	氏名	
	所属部署	
	電話	
	FAX	
	E-mail	

この推薦の件に関する連絡・問い合わせ等に対応できる人を記入して下さい。

3. 推薦機関における候補の選定方法(例:担当部署又は審査会設置による選定、等)

{ }

4. 取り組み内容の確認方法(例:現地調査又は候補者、関係者等のヒアリング、等)

{ }

5. コンプライアンス等に関するチェック

上記候補者の推薦に当たり、以下の事項を確認し、該当する場合は欄にチェックマーク(✓)を付けて下さい。

候補者に法令違反の事実はない・・・・・・・・・・・・・・・・

係争・紛争等の問題は無い・・・・・・・・・・・・・・・・

その他受賞者として相応しくない事項は無い・・・・・・・・

注)これらの項目が全てクリアされている候補者であっても、審査において受賞者として不適当と判断されることがあります。

候補者の概要書 (個人・グループ・学校用)

1. 候補者の名称、連絡先等

候補者名 ¹ (個人・グループ・学校の名称)	(ふりがな) ----- (個人の場合この欄に押印) 印
代表者役職・氏名 (グループ・学校の場合のみ)	印
連絡担当者の所属部署・役職・氏名 (グループ・学校の場合のみ)	
連絡先	住 所:(〒) 電 話: F A X: E-mail:

1 表章状はこの欄に記載された名称により作成しますので、正確にご記入下さい。

(連名による応募の場合、もう1者の名称・連絡先等を記入し各者押印して下さい。3者以上の連名の場合は、記入欄を適宜追加して下さい)

候補者名 ¹ (個人・グループ・学校の名称)	(ふりがな) ----- (個人の場合この欄に押印) 印
代表者役職・氏名 (グループ・学校の場合のみ)	印
連絡担当者の所属部署・役職・氏名 (グループ・学校の場合のみ)	
連絡先	住 所:(〒) 電 話: F A X: E-mail:

1 表章状はこの欄に記載された名称により作成しますので、正確にご記入下さい。

2.3 R活動の実施内容

今回、推薦を受ける3 R活動の内容について記入して下さい。なお、記入欄の大きさが足りない場合は、適宜拡げて下さい。

注) 審査では5ページ「審査基準」に示す項目について評価します。これらの項目を評価できるように、以下の記入欄は漏れなくご記入をお願いします。

<p>活動テーマ名</p>	<p>今回、推薦を受ける3 R活動の内容を端的に表すテーマ名を付けて下さい。 (記入例)「あきびん、PETボトルの回収活動」、「市民が中心となったマイバッグ運動の展開」等</p>
<p>活動の概要</p>	<p>3 R活動の概要を1,000字程度で記入して下さい²。また、活動の様子が分かる写真等(デジタルデータまたはプリント)を添付して下さい。</p> <p>(記入例)使用済み の回収・リユース活動を昭和 年より実施している。当時、 のリユースは困難とされ、ほとんど行われていなかったが、当グループでは行政・回収業者・メーカーへの働きかけにより、全国に先駆けてこれを実現した。開始当初のリユース量は t/年であったが、毎年着実に量を増やし、現在では t/年となっている。また、 リユース運動を広めるために、各地のNPO等を対象に リユースの手法やノウハウに関する講習会を開催し、これまでに、受講した市民グループが全国10箇所で リユースに取り組むようになった。</p>

2 過去の受賞者の活動概要(表彰結果発表資料)がクリーン・ジャパン・センターホームページ(<http://www.cjc.or.jp>)の3 R推進協議会コーナーからダウンロードできますので、記入の際の参考にして下さい。

<p>3 R活動の区分</p>	<p>実施している活動の区分について、該当するものに を付けて下さい(複数選択可)、リデュース・リユース・リサイクルのどれに該当するか判断が付きにくい場合は、20ページの「取り組みの例」を参考にして下さい。</p> <table border="1" data-bbox="435 311 1348 434"> <tr> <td>リデュース</td> <td>リユース</td> <td>リサイクル</td> <td>啓発普及等</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	リデュース	リユース	リサイクル	啓発普及等																																																																																
リデュース	リユース	リサイクル	啓発普及等																																																																																		
<p>活動開始時期・継続年数</p>	<p>3 R活動を開始した年月及び継続年数を記入して下さい。</p>																																																																																				
<p>対象品目・量等の実績</p>	<p>3 R活動の対象品目、および過去3年間にリデュース・リユースまたはリサイクルした量の実績を記入して下さい(重量、体積、数量の単位は適宜変えて結構です)</p> <p><リデュース></p> <table border="1" data-bbox="450 745 1390 1068"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>年度</th> <th>年度</th> <th>年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目</td> <td>t</td> <td>t</td> <td>t</td> </tr> <tr> <td></td> <td>m³</td> <td>m³</td> <td>m³</td> </tr> <tr> <td></td> <td>t</td> <td>t</td> <td>t</td> </tr> <tr> <td></td> <td>m³</td> <td>m³</td> <td>m³</td> </tr> <tr> <td></td> <td>t</td> <td>t</td> <td>t</td> </tr> <tr> <td></td> <td>m³</td> <td>m³</td> <td>m³</td> </tr> </tbody> </table> <p><リユース></p> <table border="1" data-bbox="450 1146 1390 1469"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>年度</th> <th>年度</th> <th>年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目</td> <td>t</td> <td>t</td> <td>t</td> </tr> <tr> <td></td> <td>m³</td> <td>m³</td> <td>m³</td> </tr> <tr> <td></td> <td>t</td> <td>t</td> <td>t</td> </tr> <tr> <td></td> <td>m³</td> <td>m³</td> <td>m³</td> </tr> <tr> <td></td> <td>t</td> <td>t</td> <td>t</td> </tr> <tr> <td></td> <td>m³</td> <td>m³</td> <td>m³</td> </tr> </tbody> </table> <p><リサイクル></p> <table border="1" data-bbox="450 1547 1390 1870"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>年度</th> <th>年度</th> <th>年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目</td> <td>t</td> <td>t</td> <td>t</td> </tr> <tr> <td></td> <td>m³</td> <td>m³</td> <td>m³</td> </tr> <tr> <td></td> <td>t</td> <td>t</td> <td>t</td> </tr> <tr> <td></td> <td>m³</td> <td>m³</td> <td>m³</td> </tr> <tr> <td></td> <td>t</td> <td>t</td> <td>t</td> </tr> <tr> <td></td> <td>m³</td> <td>m³</td> <td>m³</td> </tr> </tbody> </table>	年度	年度	年度	年度	品目	t	t	t		m ³	m ³	m ³		t	t	t		m ³	m ³	m ³		t	t	t		m ³	m ³	m ³	年度	年度	年度	年度	品目	t	t	t		m ³	m ³	m ³		t	t	t		m ³	m ³	m ³		t	t	t		m ³	m ³	m ³	年度	年度	年度	年度	品目	t	t	t		m ³	m ³	m ³		t	t	t		m ³	m ³	m ³		t	t	t		m ³	m ³	m ³
年度	年度	年度	年度																																																																																		
品目	t	t	t																																																																																		
	m ³	m ³	m ³																																																																																		
	t	t	t																																																																																		
	m ³	m ³	m ³																																																																																		
	t	t	t																																																																																		
	m ³	m ³	m ³																																																																																		
年度	年度	年度	年度																																																																																		
品目	t	t	t																																																																																		
	m ³	m ³	m ³																																																																																		
	t	t	t																																																																																		
	m ³	m ³	m ³																																																																																		
	t	t	t																																																																																		
	m ³	m ³	m ³																																																																																		
年度	年度	年度	年度																																																																																		
品目	t	t	t																																																																																		
	m ³	m ³	m ³																																																																																		
	t	t	t																																																																																		
	m ³	m ³	m ³																																																																																		
	t	t	t																																																																																		
	m ³	m ³	m ³																																																																																		

<p>独創性・先鞭性</p>	<p>他にあまり例を見ない独創的な3 R活動や、他に先駆けた先進的な取り組みを行っている場合は、その内容、及び独創的・先進的であるとする理由を記入して下さい。</p>
<p>啓発普及・教育活動の実施、波及効果</p>	<p>3 Rに関する啓発・教育活動を行っている場合は、実施内容と成果を具体的に記入して下さい。</p> <p>他のグループ・学校等の3 R活動に与えた波及効果がある場合、具体的に記入して下さい。</p>
<p>その他活動の工夫点</p>	<p>上記以外に特に工夫・努力している点、アピールしたい点等を記入して下さい。</p>

3. 本表彰における過去の受賞歴

過去に本表彰制度で賞を受けたことがある方は、以下をご記入下さい。

受賞年度	賞の種類 〔内閣総理大臣賞 大臣賞 協議会会長賞〕	受賞した3 R活動の内容 (該当する方に を付けて下さい)		過去受賞時のグループ名・学校名が現在と異なる場合、当時の名称を記入して下さい
		(A) 今回の応募内容に関連したテーマの活動	(B) 今回の応募内容とは別テーマの活動	

上記で(A)に を付けた方は、前回受賞時から進展したポイント(例:活動内容の広がり、活動レベルの向上、3 R実績量の増加、活動地域の拡大等)について、下記の例を参考に具体的にご記入下さい。

(記入例)

	過去(年度)受賞時の活動内容	今回推薦を受ける活動内容
3 R活動の内容 (拡大発展したポイントが分かるように対比)	・資源ごみの集団回収活動 ・生ごみの堆肥化	左記の活動に加え、 年から家具・日用品等の修理・不用品交換の事務局活動を開始、リサイクルのみならずリユースにも取り組むようになった。また、資源回収の対象品目も増え、活動の参加者やリサイクル量実績も格段に進展した。
3 R対象品目について	・集団回収: 古紙、ガラスびん、アルミ缶 ・堆肥化: 生ごみ	・集団回収: 古紙、ガラスびん、アルミ缶、PETボトル ・堆肥化: 生ごみ ・不用品交換: 家具・衣類・日用品・図書等
3 Rの実績量について	・古紙回収量: 500kg/年 ・ガラスびん回収量: 1,000本/年 ・アルミ缶回収量: 200kg/年 ・生ごみ処理量: 150kg/年 (堆肥生産量: 40kg/年)	・古紙回収量: 1,200kg/年 ・ガラスびん回収量: 2,500本/年 ・アルミ缶回収量: 800kg/年 ・生ごみ処理量: 500kg/年 (堆肥生産量: 200kg/年) ・不用品交換の成立実績: 120件/年
活動の実施地域について	町内で実施	町に加え、隣接する××町、 町に活動範囲を拡大。
活動の参加者数について	町内の25世帯が活動に参加	町50世帯、××町15世帯、 町20世帯が活動に参加するようになった。
活動の質的な向上について	生ごみ堆肥は、グループメンバーが自宅の庭や家庭菜園で使用。	左記に加え、地元農家に協力を求め、野菜栽培に生ごみ堆肥を使ってもらうようになった。
上記以外の進展事項、アピールしたいポイント	他の3 R活動グループとの情報交流を通じて活動のレベルアップを図るために、平成 年にホームページとインターネット掲示板を開設した(アドレス http://.jp)	

候補者の概要書 (事業所・地方公共団体等用)

1. 候補者の名称、連絡先等

候補者名 ¹ (事業所・地方公共団体等の名称)	(ふりがな) -----
代表者役職・氏名	印
連絡担当者の所属部署・役職・氏名	
連絡先	住 所:(〒) 電 話 : F A X : E-mail :

1 表章状はこの欄に記載された名称により作成しますので、正確にご記入下さい。

(連名による応募の場合、もう1者の名称・連絡先等を記入し各者押印して下さい。3者以上の連名の場合は、記入欄を適宜追加して下さい)

候補者名 ¹ (事業所・地方公共団体等の名称)	(ふりがな) -----
代表者役職・氏名	印
連絡担当者の所属部署・役職・氏名	
連絡先	住 所:(〒) 電 話 : F A X : E-mail :

1 表章状はこの欄に記載された名称により作成しますので、正確にご記入下さい。

2.3 R活動の実施内容

今回、推薦を受ける3 R活動の内容について記入して下さい。なお、記入欄の大きさが足りない場合は、適宜拡げて下さい。

注) 審査では5ページ「審査基準」に示す項目について評価します。これらの項目を評価できるように、以下の記入欄は漏れなくご記入をお願いします。

<p>活動テーマ名</p>	<p>今回、推薦を受ける3 R活動の内容を端的に表すテーマ名を付けて下さい。 (記入例)「使用済み の自主的な回収・リユースの実施」、「半導体工場から発生する各種廃棄物の発生・排出削減」等</p>
<p>活動の概要</p>	<p>3 R活動の概要を1,000字程度で記入して下さい²。また、活動の様子が分かる写真等(デジタルデータまたはプリント)を添付して下さい。</p> <p>(記入例)使用済み の自主的な回収・リユースを他社に先駆けて平成 年より実施している。使用済み は現在の法律・ガイドラインでは回収は義務づけられていないが、当社は のトップメーカーとして年間 tもの が廃棄・不法投棄されていることに鑑み、これに取り組んだ。回収の実施に当たっては販売店・流通業者等と検討を重ね、最適な回収システムを構築するとともに、お客様に対して 回収への協力を呼びかける店頭キャンペーン等を実施している。</p> <p>また、回収した の分解・部品検査・劣化箇所の交換・再組立・動作確認に関する技術、及び再生 の品質基準を独自に確立し、従来困難とされていた のリユースを実現した。当初のリユース量は 台/年であったが、毎年着実に量を増やし、現在では 台/年となっている。</p> <p>さらに、 リユースを業界全体に広めるために、同業他社に対しても技術やノウハウを開示するとともに、小中学生を対象としたリユース工場の見学会を開催する等により、地域における3 R啓発・教育にも尽力している。</p>

2 過去の受賞者の活動概要(表彰結果発表資料)がクリーン・ジャパン・センターホームページ(<http://www.cjc.or.jp>)の3 R推進協議会コーナーからダウンロードできますので、記入の際の参考にして下さい。

<p>3 R活動の区分</p>	<p>実施している活動の区分について、該当するものに を付けて下さい(複数選択可)。リデュース・リユース・リサイクルのどれに該当するか判断が付きにくい場合は、20ページの「取り組みの例」を参考にして下さい。</p> <table border="1" data-bbox="435 309 1348 434"> <tr> <td>リデュース</td> <td>リユース</td> <td>リサイクル</td> <td>啓発普及等</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	リデュース	リユース	リサイクル	啓発普及等																																																													
リデュース	リユース	リサイクル	啓発普及等																																																															
<p>活動開始時期・継続年数</p>	<p>3 R活動を開始した年月及び継続年数を記入して下さい。</p>																																																																	
<p>対象品目・量等の実績</p>	<p>3 R活動の対象品目、および過去3年間にリデュース・リユースまたはリサイクルした量の実績を記入して下さい(重量、体積、数量の単位は適宜変えて結構です)。なお、リサイクルの場合は、再生品の名称や用途(例：再生紙、ガス化燃料、セメント原料、高炉還元材利用等)を記入して下さい。</p> <p><リデュース></p> <table border="1" data-bbox="450 824 1390 1149"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>年度</th> <th>年度</th> <th>年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目</td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> </tr> </tbody> </table> <p><リユース></p> <table border="1" data-bbox="450 1227 1390 1552"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>年度</th> <th>年度</th> <th>年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目</td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> </tr> </tbody> </table> <p><リサイクル></p> <table border="1" data-bbox="450 1630 1390 1955"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>年度</th> <th>年度</th> <th>年度</th> <th>再生品・用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目</td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	年度	年度	年度	年度	品目					t m ³	t m ³	t m ³		t m ³	t m ³	t m ³		t m ³	t m ³	t m ³	年度	年度	年度	年度	品目					t m ³	t m ³	t m ³		t m ³	t m ³	t m ³		t m ³	t m ³	t m ³	年度	年度	年度	年度	再生品・用途	品目						t m ³	t m ³	t m ³			t m ³	t m ³	t m ³			t m ³	t m ³	t m ³	
年度	年度	年度	年度																																																															
品目																																																																		
	t m ³	t m ³	t m ³																																																															
	t m ³	t m ³	t m ³																																																															
	t m ³	t m ³	t m ³																																																															
年度	年度	年度	年度																																																															
品目																																																																		
	t m ³	t m ³	t m ³																																																															
	t m ³	t m ³	t m ³																																																															
	t m ³	t m ³	t m ³																																																															
年度	年度	年度	年度	再生品・用途																																																														
品目																																																																		
	t m ³	t m ³	t m ³																																																															
	t m ³	t m ³	t m ³																																																															
	t m ³	t m ³	t m ³																																																															

活動による効果	<p>3 R活動の実施により得られた効果をできるだけ具体的に記入して下さい。</p> <p>【廃棄物の削減効果】</p> <p>【省資源・省エネルギー効果】</p> <p>【環境保全効果】</p> <p>【その他の効果】</p>
活動地域の範囲、他の3 R活動主体や他地域との連携協力、地域密着性	<p>3 R活動の実施地域の範囲を記入して下さい。</p> <hr/> <p>他の3 R活動主体や他地域との連携・協力を行っている場合は、その内容を具体的に記入して下さい。</p> <hr/> <p>地域の特性や廃棄物問題を踏まえた3 R活動である場合、その内容を具体的に記入して下さい。</p>
独創性・先鞭性	<p>他にあまり例を見ない独創的な3 R活動や、他に先駆けた先進的な取り組みを行っている場合は、その内容、及び独創的・先進的であるとする理由を記入して下さい。</p>

啓発普及・教育活動の実施、波及効果	3 Rに関する啓発・教育活動を行っている場合は、実施内容と成果を具体的に記入して下さい。					
	他の事業所等の3 R活動に与えた波及効果がある場合、具体的に記入して下さい。					
その他活動の工夫点	上記以外に特に工夫・努力している点、アピールしたい点等を記入して下さい。					
他の企業等の協力	他の企業等（納入業者・下請け企業・廃棄物処理業者・リサイクル業者、等）の協力を得て3 R活動を行っている場合、以下を記入して下さい。					
	(a) 協力を得ている内容を記入して下さい。					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>協力企業の業種</th> <th>協力を得ている事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(記入例) 建材メーカー</td> <td>(記入例) 当工場が発生する廃棄パレットを原料にパーティクルボードを生産している。</td> </tr> <tr> <td>(記入例) 資材納入業者</td> <td>(記入例) 資材の空き容器を引き取ってもらっている</td> </tr> </tbody> </table>	協力企業の業種	協力を得ている事項	(記入例) 建材メーカー	(記入例) 当工場が発生する廃棄パレットを原料にパーティクルボードを生産している。	(記入例) 資材納入業者
協力企業の業種	協力を得ている事項					
(記入例) 建材メーカー	(記入例) 当工場が発生する廃棄パレットを原料にパーティクルボードを生産している。					
(記入例) 資材納入業者	(記入例) 資材の空き容器を引き取ってもらっている					
(b) 協力企業における自社発生物のリサイクル状況の把握、並びに協力企業に対する支援等を行っている場合は、その内容を記入して下さい。						
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td> (記入例) <ul style="list-style-type: none"> ・年1回、委託先の現地調査を行い、引き渡した廃棄物が確実に再生利用されたことを確認。 ・廃液のリサイクルを委託するに当たって、共同で再生技術の研究開発を行った。 </td> </tr> </tbody> </table>	(記入例) <ul style="list-style-type: none"> ・年1回、委託先の現地調査を行い、引き渡した廃棄物が確実に再生利用されたことを確認。 ・廃液のリサイクルを委託するに当たって、共同で再生技術の研究開発を行った。 				
(記入例) <ul style="list-style-type: none"> ・年1回、委託先の現地調査を行い、引き渡した廃棄物が確実に再生利用されたことを確認。 ・廃液のリサイクルを委託するに当たって、共同で再生技術の研究開発を行った。 						

3. 本表彰における過去の受賞歴

過去に本表彰制度で賞を受けたことがある方は、以下をご記入下さい。なお、同一会社でも別の事業所において受賞したものについては含めないで結構です。

受賞年度	賞の種類 〔内閣総理大臣賞 大臣賞 協議会会長賞〕	受賞した3 R活動の内容 (該当する方に を付けて下さい)		過去受賞時の会社名・事業所名が現在と異なる場合、当時の名称を記入して下さい
		(A) 今回の応募内容に関連したテーマの活動	(B) 今回の応募内容とは別テーマの活動	

上記で(A)に を付けた方は、前回受賞時から進展したポイント(例:活動内容の広がり、活動レベルの向上、3 R実績量の増加、活動地域の拡大等)について、下記の例を参考に具体的にご記入下さい。

(記入例)

	過去(年度)受賞時の活動内容	今回推薦を受ける活動内容
3 R活動の内容 (拡大発展したポイントが分かるように対比)	工場で発生する各種廃棄物・副産物を極力工場内でリサイクルするとともに、自社内で利用できないものは、リサイクル業者の協力により各種リサイクル製品の原料として有効利用を図った。これにより、最終処分量を5年前の1/5(発生量の20%)に削減した。	左記の取り組みに加え、工場内の各工程において製法・工法の改良、歩留まり改善、容器・梱包等のリターナブル化等の手段によって、廃棄物・副産物の発生そのものを大幅に削減した。これにより、最終処分量ゼロを達成した。
3 R対象品目 及び実施方法 について	<ul style="list-style-type: none"> ・塗料かす：樹脂成型品の増量材として再資源化。 ・洗浄用有機溶剤：蒸留して低品位溶剤に再生。 ・プラスチック端材：溶融ペレット化して売却。 ・段ボール箱：古紙回収業者に引き渡しリサイクル。 ・廃木製パレット：破碎・チップ化して建材ボード原料としてリサイクル。 	<ul style="list-style-type: none"> ・塗料かす：静電塗装の採用で発生量を90%削減。 ・洗浄用有機溶剤：純水洗浄に切り替え全廃。 ・プラスチック端材：工程内で100%循環利用。 ・段ボール箱：通い箱に切り替え発生量を95%削減。 ・廃木製パレット：長寿命型のプラ製パレットの採用で発生量を60%削減。破損パレットは補修して再使用。
活動の実施地域 について	当社 工場、××工場の2事業所で実施。	左記に加え、当社 工場 工場、及びグループ企業の2工場に技術移転を行い、現在全国6事業所で実施している。
活動の質的な 向上について		前回受賞時の取り組み内容はリサイクルに限定されていたが、現在は各工程で3 R全般に亘る取り組みを組み合わせ、高い効果をあげることができた。
上記以外の進展 事項、アピール したいポイント	製法・工法の改良による副産物の発生削減技術は特許を取得した。この特許技術は同業他社や他業種の工場にも採用され、各種産業におけるリデュースの推進に寄与している。	

<参 考>

リデュース・リユース・リサイクル（3R）の取り組みの例について

1．リデュース（Reduce = 発生抑制）

製品をつくる時に使う資源の量を少なくすることや、廃棄物の発生を少なくすること等をいう。

（取り組みの例）

製品をつくる時に、原材料を無駄なく効率的に使うよう工夫する。

製品を設計する時に、出来るだけ長く使えるような工夫をする。

簡易梱包や簡易包装に努める。

修理や点検等のアフターサービスを充実することにより、製品の長期使用促進に努める。

耐久消費材は手入れや修理をしながら長く大事に使う。

詰め替え容器に入った製品を選ぶようにする。

マイバックを持って、無駄な包装は断るようにする。等

2．リユース（Reuse = 再使用）

使用済み製品やその部品等を繰り返し使用することをいう。

（取り組みの例）

製品を設計する時に、本体や部品のリユースがしやすいような工夫をする。

使用済みとなった自社製品や部品の回収・リユースに努める。

リターナブル容器に入った製品を選ぶようにする。

フリーマーケットやガレージセール等を開催し、不用品の再使用に努める。等

3．リサイクル（Recycle = 再生利用）

廃棄物等を原材料やエネルギー源として有効利用することをいう。

（取り組みの例）

製品をつくる時に、出来るだけリサイクル原材料を使う。

製品を設計する時に、使用後のリサイクルがしやすいような工夫をする。

使用済みとなった自社製品の回収・リサイクルに努める。

自社で発生した副産物・産業廃棄物のリサイクルに努める。

資源ゴミの分別回収に協力する。

リサイクル製品を積極的に利用する。等



リデュース・リユース・リサイクル推進協議会は

消費者・教育機関・産業界・行政など多くの主体が連携しつつ日本全国で3R（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生利用）を推し進めてゆくことを目的とし、国民的運動を展開することを使命としています。本協議会は、リサイクル推進協議会として発足いたしましたが、3R推進の重要性を認識し、より一層循環型社会形成に資するために現在の協議会に進化させました。

日本は循環型社会構築という面では世界を一步リードするところまで来ていますが、それでも十分とは言えず、まだまだやるべきことが多く残されています。今後日本で更に優れた資源循環を推し進めてゆくために、本協議会は、3Rの普及・啓発などの活動を積極的に行ってまいります。